

# 静岡市 高等教育のあり方検討会

---

株式会社静岡銀行  
会長 中西 勝則

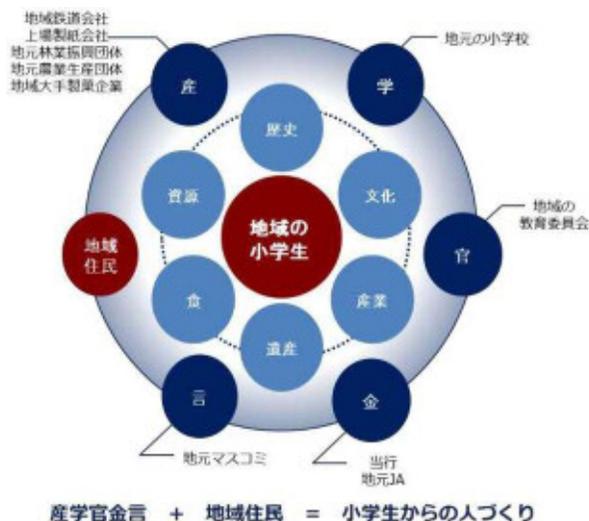
# 静岡県および静岡市を含む県内中部における課題

## 課題

- 人口の社会減、いわゆる東京一極集中への対策
- 特に深刻なのが、**19~24歳までの若年層の流出**

## 高等教育以前に、子供たちの郷土愛（シビックプライド）醸成が必要

- 地元を愛し地元の良さを知る子供を育む必要性。地元の魅力（食・産業・文化・名所など）を知ることによって郷土愛醸成を図り、地域に貢献できる人づくり。
- 静岡銀行では、小学校高学年向けの「しずおかキッズアカデミー」を開催。



平成29年9月24日開催  
参加者77名



平成29年10月15日開催  
参加者85名



平成29年10月1日開催  
参加者74名

## 静岡県および静岡市を含む県内中部における課題

### リカレント教育の中でも、より実践的な分野や領域が必要

- 東京の大会社に勤務するサラリーマンが家業を承継する時、経営者として実践的な知識・スキル・知見がないから、迷い、不安となり、尻込みする。
- 経営計画・事業計画・対人関係構築・プロモーション（販路開拓）資金繰り・ファイナンス（金融機関との取引の仕方）・資本政策など、理論ではなく、実践を学べる場が必要。

### 静岡がどうあるべきか、グランドデザインとの連動が必要

- 東京から近いという地理的利点の歯車が逆回転している（＝東京への流出）現状を順回転に戻す（＝東京からの流入）ためには「本来、静岡がどうあるべきか」という**本質的なグランドデザインから高等教育のあり方を考える必要あり**
- 静岡への移住・定住のためには「東京ではなく静岡だからこそ」というものが**必要であり、静岡の特徴的な産業や新たな独自産業の創出により就労機会を確保**しなければ、新卒者・30歳前後の第二新卒者も集まらない

例えば

# コンテンツ産業の集積を目指した体制整備と専門人材教育

## 静岡市

- ・ プラモデル出荷額 | 国内シェア94%と圧倒的
- ・ 「ちびまる子ちゃん」や「ガンダム」など世代を超えて愛されるキャラクター
- ・ 「富士山コスプレ大会」@清水
- ・ 世界的プラモデルメーカーの存在

## 静岡県

- ・ アニメ舞台の聖地巡礼
- ・ 映画のロケ地

## マンガ・アニメ・ゲームなどコンテンツ産業を育む土壌

- ・ コンテンツ産業は**クールジャパンの代名詞、波及効果・成長性は計り知れない。**
- ・ 産業集積とともに、複雑なライセンスを管理する**国の審査機関などを誘致**するなど、体制面を整備することで**クリエイターにとって魅力ある地域へ。**

## コンテンツ産業の専門教育機関設置の検討・必要性

# 観光分野の専門家養成

## 観光資源 食材

- 富士山・伊豆半島・浜名湖、中部地区においても三保の松原や寸又峡
- みかん・お茶・わさび・しらす・さくらえび

## インフラ

- 富士山静岡空港は国内の地方空港で外国人利用客数 No. 1
- 清水港の国際クルーズ船誘致も加速
- 中部横断自動車道の開通

交流人口増加による消費増が期待されるが…

## 人手不足が課題、生産性の向上が求められる

- **マーケティング・プロモーション・サービスレベルの向上を目指すべき**だが、観光分野の人材養成機関が現状ない（来年度、県立大で創設）。

## 生産性向上に資する観光分野の専門家養成機関の設置

- 静岡には中小を含め多くの観光関連事業者が存在。インターンシップなど**実践教育が可能**な環境が整っている。
- **「食」との親和性**も高く、フーズサイエンスヒルズとの連動も・・・

## その他の具体策

---

### 建築・設計分野やリスク管理の専門家養成

- 永年に亘って東海地震に対する備えが進められ、防災先進県と呼ばれながら、土木・建築に関する専門的な人材を養成する機関がない。
- 長期に亘る防災・減災への取組みの中で、行政も多様な対策を講じている。研究機関や設備・装備を含め、建築系の専門家に加え、BCPを意識したリスク管理や都市計画の専門家などの養成を行う土壌があるのではないか。

### 理系分野の専門家養成

- 県内西部の自動車関連に代表される多様な製造業を有しており、県の産業成長戦略会議でも、製造業を支える理系専門人材の輩出が議論されていた。
- ものづくりを支える即戦力となる理系人材の育成は、その後の就職先の確保の観点からも定住人口の増加につながる。
- 産業クラスターであるフーズサイエンスヒルズ、ファルマーバレーなどの静岡の特徴的取組に連動した、医工連携・医化学連携・バイオ分野の人材輩出。

## まとめ

若年層誘引、新卒Uターン、第2新卒の移住・定住促進のためには各層に対する個別の解決策と**働く場所の確保が必須**

そのためには都市や地域としてのグランドデザインが必要

- 静岡にどんな産業を集積させ、いかに新たな産業を生み出すか
- 静岡の強みが何で、どの分野の専門性を高めるべきなのか

高等教育のあり方に関しても、静岡のグランドデザインとセットで検討していかなければならない